

平成 29 年度第 4 回佐賀県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 会議概要

- 日 時 平成 30 年 2 月 1 日 (木) 17:00~18:45
- 場 所 佐賀市大和支所 第 1 会議室
- 委員出席者 倉田会長、木下委員、久野委員、山元委員、馬場委員、松尾委員、本田委員、高岸委員、久米委員、今泉委員、山中委員
- 事務局 松隈副事務局長兼総務課長、諸熊業務課長、井手野総務副課長兼係長、大串財政係長、江島企画・保健係長、山下給付係長、秀島資格賦課係長
- 意見及び質疑応答要旨

1 医療費の現状について

- | | |
|-------|--|
| (事務局) | ・平成29年度医療費の現状の説明 |
| (委員) | 医療給付費が当初予算と比較して33億円ほど余るが、これについての理由はなにか。 |
| (事務局) | 当初予算額は過去の実績から算出しており、平成27年度のC型肝炎の薬剤の影響を含んで算出していたことから大きな数字になっていた。また、高額療養費及び食事生活療養費の制度改正が当初想定していたものより、大きく影響したことが原因となっている。 |
| (委員) | 全国と佐賀の疾患ごとの比較を見て、佐賀県の特徴・課題として見えることはなにか。 |
| (委員) | 全国と佐賀では疾患ごとの比率は似ていると感じるが、やはり課題は骨折などにも繋がるフレイル予防だと思う。 |
| (委員) | 介護保険の中で介護予防を積極的にやっていくべきとの話が出ていたが、その取組の中で期待されるものはなにか。 |
| (委員) | 今後の介護保険の趣旨はお世話型から自立型へということだ。佐賀県に限らず、日本人は医療に対するコスト意識がなく、自立していく必要がある。そのためにもフレイル予防が大切だと思う。 |
| (委員) | 佐賀県が全国と比較して、統合失調症の一人当たりの医療費が高いのは、佐賀県のベッド数が多いことによる長期入院の影響があると見れるのか。 |
| (委員) | 佐賀県はベッド数が多く、ベッド数の削減が必要な状況。今後は在宅復帰率というものが重要視されているため、2025年問題を見据えて、入院できないような状況になってくるのではないかと思う。 |
| (委員) | 佐賀の在宅の看取り率は低く、今後は訪問診療などを充実させる方向に進んでいくと思う。 |
| (委員) | 訪問診療を充実させるためにも、予算を配分してほしい。在宅をしっかりとするためには、地域包括ケアシステムがしっかり稼働し、自助・互助・共助が必 |

要となるが、理解していない地域が多い。

(委員) 2025年問題において、訪問看護が期待されているが、どこも訪問看護師の人員が不足している。

(委員) 看護師も病院の中であれば医師の指示をすぐにもらえるが、訪問看護だとそうはいかない不安もあるのではないかと。特定行為という制度があり、看護師が医師からの仕様書を予めもらうことで、処置をできるものだが、制度が難しく普及しないため、もっとやりがいのある制度にしてもらいたいと思う。

2 平成30・31年度保険料について

(事務局) **・平成30・31年度保険料率の説明**

(委員) 財政安定化基金の交付額は県と協議した額ということか。

(事務局) はい。

(委員) 保険料率は2月の議会定例会に上程し、その後公表となるのか。

(事務局) はい。議会で可決後、4月1日施行と考えている。

(委員) 軽減特例の見直しの影響等も併せて広報を行うのか。

(事務局) 併せて行う予定。

3 平成30年度当初予算及び主要事業について

(事務局) **・平成30年度特別会計当初予算の説明**

・平成30年度主要事業の説明

(委員) 歯科健診事業の受診勧奨通知の出し方で、受診率が上がるような工夫はあるか。

(事務局) 歯科医師会と協議し、検討していく。

(委員) 一般には歯周病を起因として、動脈硬化等を引き起こすという認識がないため、通知が来た場合、そこを理解出来ないと思う。

(委員) 歯周病が原因でいろいろな病気を引き起こすというのは医学的に分かっている。また、歯周病は放置されているケースが多く、生活習慣病を防ぐためにも歯周病の治療が重要になってくる。

4 長寿健康づくり事業実施計画について

(事務局) **・第2期長寿健康づくり事業実施計画に係る意見への回答について説明**

(委員) あん摩、はり・きゅうの助成について、市町とも協力して効果検証を行って
もらいたい。

(事務局) 補助金の効果等の検証が出来ていないことが一番重要な論点だと思ってい
る。現状は効果的な事業検証ができていない状況であるため、市町とも協力し
て改善を行っていきたい。

(委員) 重複服薬等の事業は後期高齢者医療広域連合と別に、県でも行っているため、
各事業をまとめて取り組めないかと思う。

(委員) 現在、県において、重複服薬についてのマニュアル作成を行っている。完成
後、後期高齢者医療広域連合や健康保険組合にも提供し、お互いに活用できれ
ばと思う。

5 その他

(事務局) **・その他意見交換**

(委員) 歯の病気が動脈硬化等の原因になることを知らないという意見については、
医師などの講演会活動が不足していると思う。是非老人クラブとも協力して講
演を行っていきたい。

(委員) 是非お願いしたい。